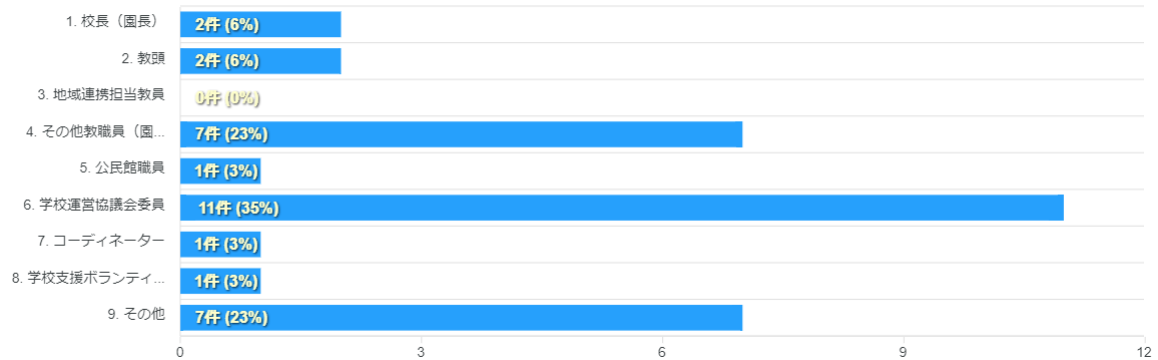
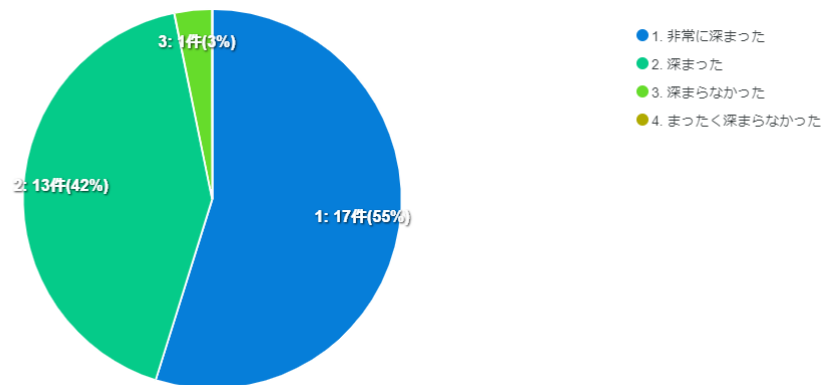


## 橋本中央中学校区3本部共育コミュニティ合同研修会 アンケート結果

問1. どのような立場でご参加されましたか。



問2. 研修会を終えて、学校と地域の連携・協働に対する理解度は深まりましたか。



問3. あなたが学校と地域の連携・協働を推進する上でのキーワードは何ですか。

- 活動は楽しいことでないと続かない。若い人の参加が重要。世代間交流。地域の人子どもたちを育てるという意識。
- 対話
- 地域が子供との関りを強く持って行動していかないと。楽しくやりがいを見出す事が大切だと思います。
- 子どもたちを真ん中にすえたつながり
- 話し合える場所をつくる。（子供と地域の方と）
- ふるさと愛
- 大人も子どもも自分のやりたいこと、できることを見つけて取り組む 楽しむため⇒ボランティアは自分のため

- ライフキャリア教育、ナナメの関係づくり
- 「つくる」「知る（相手のことを）」「楽しむ」
- 大人と子どもが楽しく出会える場作り、子ども達が中心の活動
- 共に動く
- ネット社会な昨今、人と人が関わる事が出来る機会を作る事と増やす事が大切だと思います。“話す機会を持つ”
- 人と人とのつながり（こどもと大人）
- コーディネーターでも個人の力に依存するのではなく誰でもできる何かアイデアが必要（企画力）大人一人一人がまず近くにいる子どもと話ができる関係になること 平行していければ
- 地域と園をつないでくれる公民館かなと思います。
- 対話、コミュニケーション
- こどもを真ん中におくこと
- 対話
- 大人と子どもの対話、大人と大人の対話、 人の話を聞き、認める。みんなで作り上げていく。
- やりがい
- たのしい、わくわくする、やりたいと言う気持ちと、対話を重ねるコミュニケーション。
- その地域の特色を決めること
- 対話
- 持続可能な取組
- 魅力ある・元気になれる橋本市
- 対話、思い、目的
- 改めて「対話」の重要性に気づかされました。

問4. 研修会を受けて、明日からやってみようと思ったことがあればご記入ください。

- 共育コミュニティの活動で、世代間交流が大切で、子どもたちを育てていくことが重要であるとわかったので進めていきたい。
- 今回のお話をより多くの人に広げたいと思いました。
- 地域区長や学校につながりを強く持って、地域のイベントを開催したいと思います。

- まず近所の子どもたちとのつながりを強めていきたいと思う。
- 子供たちへあいさつ
- 子供に話しかける。
- "学校運営協議会委員+学校に入っているボランティアがそれぞれの想いをもつと話しあう場を持つように働きかける
- 年2～3回の協議会だけでは足りないと思います"
- 地域の方々がしてくれていること、公民館の行事などの情報やその良さを子どもたちに積極的に伝えたい。
- 相手（地域）のを知る、その時間、場をつくること
- あいさつ。子どもたち（地域）に話かける。
- 地域の子どもに積極的に声を掛けていきたいと思う。
- こども達と笑顔でつながっていきたい（対話など）
- 近所の子に声をかけようと思う
- "せっかく共育コミュニティがあるので、コミュニティを通して様々な方との交流ができればいいなと思いました。
- 小学校と園は交流があるが中学校とは全くないので、とのあたりもコミュニティを通して前にすすめればいいなと思いました。"
- "カтары場の映像を見て、とてもすてきだと思いました。
- 一人一人が笑顔で対話をしているのが印象的で、私も笑顔でまずは地域の人へのあいさつからはじめたい。"
- "こどもの声を聞くこと、耳を傾けること、カッコいい大人に近づける様に気を抜かない"
- 地域の子どもたちとまずあいさつをしようと思いました。
- 地域の方々との対話、コミュニケーションをさらに進める。
- 難しい事ではなく、子どもがどんな大人になりたいかイメージしやすくする必要がある事がよくわかった。そのために大人とこどもが、会話することを大切にしていきたい。
- 今後、地域連携を通じて人づくり
- まずは、橋本市の魅力は何なのかを確認する。
- ワクワクする思いを形に
- まずは目の前の生徒としっかり話をすること。そして、地域の方々とかかわっていく機会が持てるようにしていきます。

問5. また、このような機会があれば参加したいと思いますか。

